

優良工事の講評内容について

- 1 工事名：(5)北信濃水道管改良工事
- 2 請負業者：株式会社 ヒロミ建設
- 3 請負金額：当初 90,750,000 円、最終 92,708,000 円
- 4 工期：令和5年5月22日～令和5年11月29日
- 5 評定：合計評定点 83 点
- 6 工事の講評

上記工事は、水道工事共通仕様書及び北海道建設部土木工事共通仕様書に定める施工を遵守し、総合的に優れた施工管理が行われており、施工状況(施工管理)、出来形及び出来ばえ(出来形、品質)、創意工夫を総評し、優良工事であると認める。

(1) 施工状況について

ア 施工管理

工事内容は、近年の水道工事では実績が少ない小口径管推進工事であったが、出来形及び出来ばえにおいてきめ細やかな施工を行った。

また、デジタルレベル等の使用により、測量精度の向上による正確な出来形管理が行われた。

イ 対外関係

工事施工箇所は、道道早来千歳線と街路7線大通の交差点部であり、非常に交通量の多い現場であったが、大型車両でも安全に通行できるよう適切な交通規制を行ったことにより、近隣企業や第三者からの苦情もなく円滑に工事を竣工した。

(2) 出来形及び出来ばえについて

ア 品質

試験等の品質の規格値を全て満足するほか、各種試験の資料が的確に整理されていた。

イ 出来ばえ

コンクリート構造物及び舗装の仕上げが良く、補修箇所が無かった。

(3) 創意工夫について

ア 施工関係

デジタルレベル等を取り入れ、測量精度や作業効率の向上を図りながら施工を行っていた。

イ 安全関係

・通行車両が安全に走行できるよう、覆工板や仮舗装部において仮区画線を施工していた。

・歩行者が安全に通行できるよう、施工範囲外の剥離劣化していた区画線において、積極的に施工を行っていた。

・施工範囲外の舗装破損箇所において積極的に補修を行っていた。

以上